学校番号	309

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	コミュニケーション	2	2	ENGLISH FIRST HAND 2

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次より更に発展した英語コミュニケーション能力の育成を目指す。間違いを恐れず自信を持って積極的に自分の意見を述べたり、相手の意見に耳を傾ける姿勢を養い、質問・共感・また異なる意見も尊重しながら反論したりするなど、自然な意見交換ができるようになることを目標とする。毎回の課題に真摯に取り組み、授業時間中にも積極的に発言するなど、前向きな態度を評価する。またプレゼンテーションやディベート等も評価に含む。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	単語の発音・強勢･リズムやイントネーションなどの音声的特徴を捉え、自分でも真似て話そうとする態度を養う。様々な国籍の話者が発する自然なスピードの発話の趣旨を概ね理解することができるようになる。	英語で書かれた読み物や記事を読み、語(句)・表現の意味やその働きを文脈に沿って理解し、内容を適切に把握、更に要旨をまとめることができる。そこから得た情報や意見を基に、自分の考えや意見を構築することができる。	人の言うことに真摯に耳を傾け、互いに協力しあいながら、間違いを恐れず積極的に質問・意見交換をしようとする。情報や考えを論理的にまとめ、意見の交換ができる。話し合いや意見交換を円滑に行うために必要な表現や方法についての知識を身に付けている。	意見を伝えるための論述形式を理解し活用できる。伝えにくいことも、既知の語句や表現を用いるなど工夫して、情報や考えを伝える努力ができる。調べたり読んだり聞いたりした内容から、異文化に対する知識･理解を深めることができる。	語(句)や表現、文法事項などの知識を活用し、適切に自分の言いたいことを書いて伝えることができる。英語での論述形式に従い、話題を明示した上で、それに関する意見やその理由・根拠を書くことができる。読み手を説得するに足る論理を展開することができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各トピックにおいて学んだ語彙や、重要表現、意見を伝えるための論述形式などを理解する。また文化的背景などの情報を自ら収集し、知識・教養として吸収している。①定期考査　②実技試験　②課題　③言語活動　の理解度・取組状況において評価	各トピックにおいて学んだ語彙・重要表現や得た背景情報を駆使して、内容を把握・要約することができ、また内容に関する自分の考えを論理的に表現することができる。①定期考査　②実技試験　②課題　③言語活動　の理解度・取組状況において評価	授業や課題・定期考査や実技試験において、能動的・積極的に取り組んでいる。各トピックにおける興味・関心を示し、自ら問題解決しようとする姿勢を持つ。②実技試験　②課題　③言語活動　の理解度・取組状況において評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法

1	UNIT1 “人間関係” UNIT2 “感情”	聞くこと	a: 音声や相手の発話を自然なスピードで一度聞いて概要を把握できる。積極的に耳を傾ける能動的な姿勢がある。 b: 二度目の音声を聞いて、又は相手の発話の不確かな部分を適宜聞き直すことで、詳細を理解することができる。 c: 本単元の重要語彙や表現を音で捉え理解することができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		読むこと	a: 本文内容の要点をおさえながら、読んだ内容の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 関連する記事などの投げ込み教材に興味を持ち、意欲的に読むことができる。本単元の題材を知識として吸収している。 c: 本単元の題材をよく理解し、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		話すこと(やり取り)	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし、言いたいことを効果的に相手に伝えることができる。	②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書くことができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
	中間考査			
	UNIT3 “描写” UNIT4 “意見” UNIT5 “謝罪と問題”	聞くこと	a: 音声や相手の発話を自然なスピードで一度聞いて概要を把握できる。積極的に耳を傾ける能動的な姿勢がある。 b: 二度目の音声を聞いて、又は相手の発話の不確かな部分を適宜聞き直すことで、詳細を理解することができる。 c: 本単元の重要語彙や表現を音で捉え理解することができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		読むこと	a: 本文内容の要点をおさえながら、読んだ内容の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 関連する記事などの投げ込み教材に興味を持ち、意欲的に読むことができる。本単元の題材を知識として吸収している。 c: 本単元の題材をよく理解し、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		話すこと(発表)	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし、言いたいことを効果的に相手に伝えることができる。	②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書くことができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
	期末考査			
2	UNIT6 “シンボルと伝統” UNIT7 “ライフイベント”	聞くこと	a: 音声や相手の発話を自然なスピードで一度聞いて概要を把握できる。積極的に耳を傾ける能動的な姿勢がある。 b: 二度目の音声を聞いて、又は相手の発話の不確かな部分を適宜聞き直すことで、詳細を理解することができる。 c: 本単元の重要語彙や表現を音で捉え理解することができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		読むこと	a: 本文内容の要点をおさえながら、読んだ内容の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 関連する記事などの投げ込み教材に興味を持ち、意欲的に読むことができる。本単元の題材を知識として吸収している。 c: 本単元の題材をよく理解し、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組

		話すこと(やり取り)	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし、言いたいことを効果的に相手に伝えることができる。	②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書くことができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
	中間考査			
	UNIT8 “特別なイベント” UNIT9 “問題と助言” UNIT10 “お話を伝える”	聞くこと	a: 音声や相手の発話を自然なスピードで一度聞いて概要を把握できる。積極的に耳を傾ける能動的な姿勢がある。 b: 二度目の音声を聞いて、又は相手の発話の不確かな部分を適宜聞き直すことで、詳細を理解することができる。 c: 本単元の重要語彙や表現を音で捉え理解することができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		読むこと	a: 本文内容の要点をおさえながら、読んだ内容の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 関連する記事などの投げ込み教材に興味を持ち、意欲的に読むことができる。本単元の題材を知識として吸収している。 c: 本単元の題材をよく理解し、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		話すこと(発表)	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし、言いたいことを効果的に相手に伝えることができる。	②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書くことができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
	期末考査			
3	UNIT11 “世界の問題” UNIT12 “夢と目標”	聞くこと	a: 音声や相手の発話を自然なスピードで一度聞いて概要を把握できる。積極的に耳を傾ける能動的な姿勢がある。 b: 二度目の音声を聞いて、又は相手の発話の不確かな部分を適宜聞き直すことで、詳細を理解することができる。 c: 本単元の重要語彙や表現を音で捉え理解することができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		読むこと	a: 本文内容の要点をおさえながら、読んだ内容の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 関連する記事などの投げ込み教材に興味を持ち、意欲的に読むことができる。本単元の題材を知識として吸収している。 c: 本単元の題材をよく理解し、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		話すこと(発表)	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし、言いたいことを効果的に相手に伝えることができる。	②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組

			b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書くことができる。	④課題への取組
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度